

平成 29 年 5 月 31 日

各 位

会 社 名 ニッコー株式会社
代表者名 代表取締役社長 三谷 明子
(コード番号 5343 名証第2部)
問合せ先 執行役員サービス本部長 布川 一哉
(TEL. 076-276-2121)

通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 10 日付「平成 28 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した平成 29 年 3 月期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)の通期連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	13,800	120	100	40	1 円 72 銭
今回発表実績 (B)	12,864	11	67	126	5 円 42 銭
増減額 (B - A)	△935	△108	△32	86	
増減率 (%)	△6.8	△90.3	△32.6	216.2	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	13,643	△407	△383	△554	△23 円 79 銭

2. 差異の理由

売上高は、主に住設環境機器事業におけるバンクチュール®(システムバスルーム)の期ずれおよび陶磁器事業における販売低迷が影響し、予想値を下回る結果となりました。

営業利益は、全社的な売上原価の低減および販売費及び一般管理費の圧縮により利益率が改善したものの、陶磁器事業におけるたな卸資産の評価減などが利益圧迫要因となり、売上高の減少を補うには至らず、予想値を下回る結果となりました。

経常利益は、為替差益の発生および当初見込みを上回る受取賃貸料の計上などがあったものの、上記の利益圧迫要因の影響により、予想値を下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、本日付「特別利益および特別損失の計上に関するお知らせ」に記載した失火に係わる保険収入(特別利益)の計上などの影響により、予想値を上回る結果となりました。

なお、営業利益から親会社株主に帰属する当期純利益に至る各段階利益は、第 87 期(平成 24 年 3 月期)以来 5 期ぶりの黒字化を果たしました。

以 上